

この報告書は、災害教訓の継承に関する専門調査委員会の下に設けられた小委員会において検討され、平成17年2月23日に開催された同調査会で承認されたものである。執筆は、

(主査) 三沢 伸生 東洋大学社会学部社会文化システム学科助教授
川俣 従道 海難審判庁海難審判理事所調査課長
務台 俊介 総務省消防庁防災課長 (平成16年3月まで)
下河内 司 総務省消防庁防災課長
山下 茂 明治大学大学院ガバナンス研究科教授
阿部 安成 滋賀大学経済学部助教授

の各委員が行い、担当は以下のとおりである。

はじめに (三沢)

第1章 「エルトゥール号事件」に至る歴史的背景 (川俣)

第2章 「エルトゥール号事件」 (三沢)

第2章のコラム

*コラム 「挿絵にみる希薄な互いの文化認識」 (三沢)

*コラム 「遭難当日の天気状況」 (西潟)

*コラム 「伝説のひと山田寅次郎、忘却のひと野田正太郎」 (三沢)

第3章 「エルトゥール号事件」と新聞メディア (三沢)

第4章 「エルトゥール号事件」後の防災体制と災害教訓伝承 (三沢)

まとめ (三沢)

付 録 (三沢)

災害概略シート (久津間)

務台委員、下河内委員、山下委員、阿部委員は、報告書全体の確認を行った。

なお、事務局の担当は以下のとおりである。

石井 晴雄 内閣府防災担当企画官 (平成16年3月まで)

久津間敏生 内閣府防災担当企画官

西潟 政宣 内閣府防災担当主査

高部 信孝 内閣府防災担当行政実務研修員 (平成16年3月まで)

秋元 伸哉 内閣府防災担当行政実務研修員

平成17年3月

内閣府政策統括官 (防災)

本報告書のとりまとめは、みずほ情報総研株式会社に委託し、実施した。